



財務省大阪税関・大阪市水上消防署見学の報告

令和元年 12 月 18 日

日 時：令和元年 12 月 12 日（木） 10 時 15 分～15 時

場 所：財務省大阪税関・大阪市水上消防署

スケジュール：10 時 30 分～11 時 30 分・・・大阪税関の見学

13 時 30 分～15 時・・・・・・大阪市水上消防署の見学

参加者： 16 名

大阪税関の見学

明治 5 年（1872 年）11 月 28 日「税関」として呼称統一することが決まり 11 月 28 日を「税関記念日」としている。

貿易の健全な発展と安全な社会を実現するため、世界最先端の税関を目指す。その税関の 3 つの使命は

- ①安全・安心な社会の実現（不正薬物、銃器、知的財産侵害物品などの密輸を阻止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止する。）
- ②適正かつ公平な関税等の徴収（約 8.6 兆円、国税収入の約 13.8%を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税、消費税などを徴収する。）
- ③貿易円滑化の推進（国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力や IT 化の推進などを通じて、通関を一層迅速化する。）

税関についてのお話の後、場所を移して、大阪税関における覚醒剤や大麻・金塊の摘発事例の見学をした。



大阪市水上消防署の見学

平成 11 年 3 月に完成した一寸特徴のある 6 階建ての建物でした。まずは「水難救助隊」の方から、海・河川で溺れた人や行方不明の人の救助について、続いて消防艇の活動についてお話を伺いました。

★消防艇「まいしま」平成 12 年 3 月就航（158 t）

放水砲等から消防車 25 台分（毎分 5 万ℓ）の放水能力をもち、船舶火災のほか海難事故、流出事故、石油貯蔵施設の火災等にも対応できる多機能型消防艇の見学。

★消防艇「ゆうなぎ」平成 24 年 5 月就航（19 t）

低い橋梁の下を航行するため、操船室屋根の昇降装置と両舷に備えたタンク内の水量調整により船の高さを変えるバラスト装置を備えており、この特殊な構造により、河川部での水難事故や消火活動にも対応できる消防艇の見学。



水難救助車と「特別救助隊」の活動・装備服・実務活動について説明うける



消防艇 まいしま



（後方右 消防艇）ゆうなぎ

